



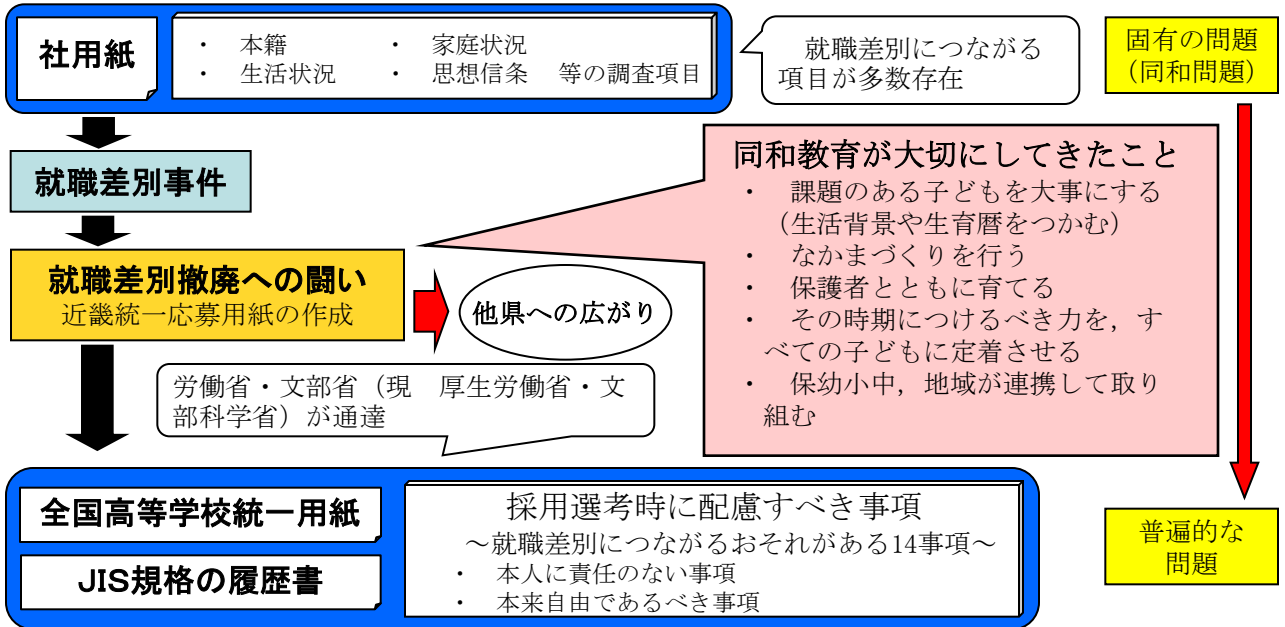
平成27年度 第1回人権教育主任研修会

平成27年5月14日(木)実施

【講話】「人権教育をめぐる現状 ～公正な採用選考について～」

講師：高知県内大学等就職対策協議会 堀川 美彌 委員

公正な採用選考制度について 同和教育が築いてきたこと



【実践発表】人権教育の実践報告

「確かな人権意識と人権感覚を育むための効果的な指導内容と指導方法の研究」
～人との出会い、関わり、つながりを中心に～
高知市立秦小学校 水江 美和 教諭

研究内容

- ・ 人との出会い、関わり、つながりを軸にした授業実践
- ・ 秦小学校における地域教材の開発

授業実践

単元名「ひろげよう あったかハート ～『秦ミニデイ』との交流を通して～」

- 学習内容
 - ・ お年寄りに楽しんでもらえるミニデイ(交流会)を自分たちで計画、実践する
- 交流の三つのポイント
 - ・ 一度で終わらない交流
 - ・ 顔が見える、名前が言える交流
 - ・ 互いにメリットのある交流

成果と課題

- ・ 交流を軸とした学習を充実させたことで、児童は相手の立場で考え、実践しようとする意欲を見せるようになった。今後、人権教育を基盤として、他の取組との連携を深めていきたい。

「南海中学校の取組」
高知市立南海中学校 永原 潤一 主幹教諭

研究主題
「生き抜く力を育む地域ぐるみの人権教育の推進」
～生命の教育を基軸に～

研究内容

- ・ 生命と人権が尊重される地域
- ・ 共生社会を形成する力を育む園・校
⇒「人権感覚」をつなぎ、人権的实践力を育む

取組の実際

- 授業
 - ・ 「学びあい」の授業(保育)の研究 等
- 保小中連携
 - ・ 南海中学校区における15年間を通した人権教育計画(0～15歳をつなぐ、めざす子ども像及び人権学習教材等の系統性)の策定
- 地域連携
 - ・ 地域・保小中合同研修会(地域講演会、地域合同授業研)の実施 等

研究成果

- ・ アンケート調査の結果、15年間のつながりを通した人権教育に対する教職員の意識や取組の向上が見られた。

【受講者の感想】

- ・ 何事も人権の視点でよく考えていくことが大事だと感じた。学校・学級の子どもたちと向き合っていくために、自分自身の人権感覚を磨いていきたい。また、今回の研修での学びを校内に伝えていきたい。

研修の目的

学校教育目標の具現化をめざした校内研修の意義や校内研修体制の確立・校内研修の在り方について協議し、研究主任としての力量を高める。



研究授業を教師同士の学び合いの場にするための五つのポイント

- 1 焦点化 …… 授業研究会のねらいをはっきりさせよう。
- 2 視覚化 …… 授業研究会で振り返った内容を、全教員が目にするようにしよう。
- 3 自己教材化 …… 実践記録を作成して、それを時間をおいて眺めてみよう。研究紀要を作成したら、それを同僚間の「学び合い」の教材として活用しよう。
- 4 共有化 …… お互いのアイディアを参考できるように工夫しよう。
- 5 多様化 …… いつも同じではなく、いろいろな視点で研究活動を展開しよう。

- ・ 研究通信の発行
- ・ 学年や教科を超えたグループ協議
- ・ 一人の気づきをみんなのものに
- ・ 研究授業では、新たなことにチャレンジする後押しを!!



研究主任に求められる力

- ・ 同僚の取組を尊重し、共感する態度
- ・ 常に先を見て計画立案し実行修正する力
- ・ 外部リソースの確保に関する情報収集力と活用

研究協議で更に「知」の共有化を図る

- ・ 参加型
- ・ 振り返り
- ・ 決意表明
- ・ 笑いとおドリブ
- ・ テンポよく
- ・ 意外な展開
- ・ 意図的指名
- ・ 講師の活用

司会に求められる力

授業力アップ

「多忙感」を
「充実感」へ

学力の向上

研究の継続性

【受講者の感想】

- ・ 研究の進め方や具体的な研修内容、また、そのなかでの研究推進部の役割について知ることができた。
- ・ 授業研究でのチャレンジ（失敗を恐れないこと）の必要性を痛感した。
- ・ 研究授業の焦点化、共有化、自己教材化等の大切さに気付いた。
- ・ 研究協議を深め、次につなぐためには司会が重要な役割を果たすことについて納得した。
- ・ 研究協議における、同僚の意図的指名や司会の進行の仕方について参考になった。